



教会短信

2013年2月10日

No. 49

牧師 間瀬 善彦

聖書の創世記にヤコブという人がいました。この人は大変狡猾こつかつな人で、兄エサウから家督権を奪い取りました。それで兄の怒りを買って、故郷に居られなくなってしまいます。彼は叔父であるラバンのもとへ逃げました。その途中で、ルズという地にたどりつき、そこで日が暮れたので、石を枕にして、1人寂しく野宿しました。その夜、彼は夢の中で、神からの言葉を聞いたのです。

「見よ、わたし（神）はあなたと共にいる。あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り……決して見捨てない」（創世記 28:15）。

ヤコブは人をだまして上手に世渡りをするような人で、わたしは全く良い人とは思えません。そのようなヤコブにも、「わたしはあなたと共にいる。決して見捨てない」、と神は声をかけてくださったのです。

ヤコブは心の中で思っていたことでしょう。自分のような人間は、神に愛される値打ちがない。神に裁かれ、神の罰を受けるのが当然だと。しかし、そのような罪深い自分であるにもかかわらず、なお愛してくださり、そういう自分と共に神が歩んでくださるというのです。ヤコブは大いに驚きました。ヤコブは、「ここは、なんと畏れ多い場所だろう。これはまさしく神の家である。そうだ、ここは天の門だ」と言って、野宿していた場所をベテル（神の家）と名付けました。

わたしたちにとって必要なことは神の愛に気づくことではないでしょうか。だれでも欠点があります。完全な人はいません。自己中心という罪も持っています。そのような罪ある自分をも、なお愛してくださっている神の存在に気づくことは大切なことです。神は自分のたった1人の御子イエスを、わたしたちの罪のために十字架につけることまでして、この愛を示してくださいました。

わたしたちにとって必要なことは、「わたし（神）はあなたと共にいる。決して見捨てない」と言うてくださる神の愛に気づくことです。この神の愛を信じ、感謝して生きていきましょう。

信仰の告白

2012年11月11日。私はバプテスマを受け、クリスチャンとなりました。

今から6年前、間瀬牧師先生に結婚式の司式をお願いした時に、私は初めてキリスト教の聖書と教会に出会いました。教会に通ううちに、礼拝の後、何だかとても気持ちが落ち着き、幸せな気持ちで満たされていることに気づきました。当時はわかりませんでした。これは「神の愛」なのだと思います。神は、こんな私をも愛してくださる、こんな罪深い私のことも、罪を赦し、愛してくださる。これが神の愛であり、キリスト教なのだと認識した瞬間でした。

私の母は、この経堂教会でバプテスマを受けました。私の実家には両親と第二人がおります。父と弟たちは精神に障害を持っています。精神的に不安定な障害を持つ3人と暮らす母は、毎日毎日、本当に苦勞の連続です。

かつて母は、藁をもすがる思いで、ちょっとでも効果のありそうなものを次々と買って来たり、毎日お経を唱えてみたり、名前の画数が悪いと言われれば改名してみたり、本当に色々なことをしました。どれも効果はなく八方塞がりとなり、最後にたどり着いたのが、この教会でした。母が初めて教会に行った日、どれだけ母が喜びに満ちあふれたか、よく覚えています。メールで報告を受けたのですが、短いメールの文章から、まるで新しい人生が始まったかのように、喜びに満ちあふれた母の姿が目には浮かびました。そして数ヵ月後、母はバプテスマを受け、クリスチャンになりました。

私がバプテスマを受けようと思ったのは、クリスチャンになった母を通して、キリスト教の文化が私の中に少しずつ入ってきて、なんだかとても自然に「ああ、バプテスマを受けよう」と思ったからです。キリスト教については、まだまだ知らないことが多いけれども、神に愛されながら生きていくとは、素晴らしく人生が満たされるのだろう、と少しずつ思うようになってきたからです。本当に、自然に「クリスチャンになろう」と思ったのです。

私がとても好きで大切にしている言葉があります。マザー・テレサの「愛はまず家庭から始まるものです。愛は家庭に住まうものです」という言葉です。家族を愛し、神に感謝をし、家庭を愛で満たし、生きていきたいと思えます。

日々、思います。神様、私はあなたを信じ、あなたが作ってくださった人生を生きていきたいのです。あなたの御子であるイエス・キリストを救い主として受け入れます。イエス・キリストの十字架において、私の罪は赦され、救われたことを信じます。バプテスマを受けた時からが信仰生活のスタートです。まだまだ知らないことばかりですが、少しずつでも聖書を学び、より充実した人生を送りたいと思えます。



2013年2月24日（日） 10：30～12：00

讃美礼拝とはその名のとおりに、讃美歌を中心とした礼拝です。
礼拝後に日本歌曲の合唱や、ピアノの演奏もあります。

讃美歌に興味のある方、音楽がお好きな方、礼拝が初めての方にもオススメです。ぜひお気軽にいらしてください。

（出演者）

コール・ファーマー（東京農業大学DB・学生 男声合唱団）

加藤 大喬（洗足学園音楽大学 ピアノ科卒業）

讃美礼拝プログラム（一部）

- ♪ 聖書朗読（司会者）
- ♪ 牧師からのお話
- ♪ コールファーマーによる讃美
- ♪ 全員で讃美
- ♪ ピアノ曲、日本の歌



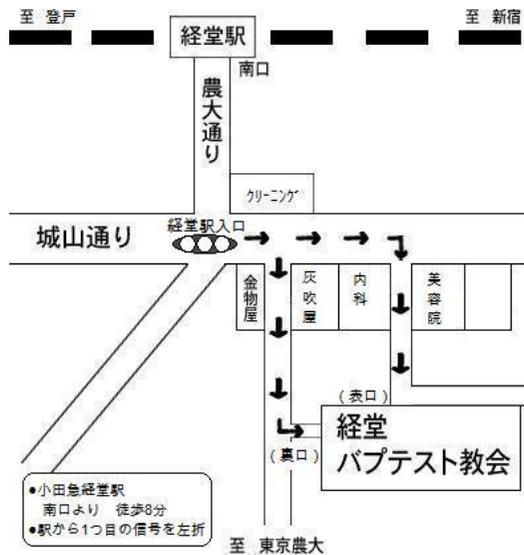
★イースター礼拝のご案内

3月31日（日） 10：30—12：00

どなたでもイースター礼拝にご参加ください。お待ちいたしております。
イースターエッグも用意しています。

日曜日は教会へ集会案内

主日礼拝	日曜日	午前10時30分～11時30分
教会学校	日曜日	午前11時45分～12時30分
青年科・成人科		
聖書を学ぶ会	火曜日	午後 1時30分～ 2時30分
聖書研究・祈禱会	水曜日	午後 7時30分～ 8時30分



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。